

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	改善策
質の高い学力を はぐくむ	授業力の向上	ICT機器を活用した授業法の研究と教員間の情報交流と授業公開を進める。		
		新学習指導要領を円滑に実施するため指導や評価について丁寧に説明する。		
	知的好奇心や探究心の 育成	京都大学総合博物館との連携事業を推進する。		
		「洛北Step Up Matrix」を活用し、探究的な学習を取り入れた洛北サイエンスを実施する。		
	学力の定着の検証	学力テストなどの学力推移状況を資料として蓄積するとともに、多様な観点から生徒の学力をとらえる。		
		定期考査のまとめや分析を行うことによって掌握した課題に対する方策を集約し、共通理解を図る。		
豊かな人間性を はぐくむ	道徳の時間の充実	生徒の多面的・多角的な見方をふまえた評価となるように検討する。		
		学級や学年を越えて相互に授業を参観することで授業改善に生かす。		
	人権感覚豊かな学校環 境づくり	いじめの未然防止に努め、いじめが起きた場合には迅速かつ適切な指導を行う。		
		人権教育年間指導計画を改善し、普遍的なアプローチと個別的な視点からのアプローチによる人権学習を充実させる。		
		教職員のコンプライアンス意識を一層高めるための啓発を適宜行う。		
チャレンジ精神の涵養	各種検定や全国レベルのコンテストや大会への積極的参加・応募を促し、その成果を学校全体で認め合う。			
健全な心身を はぐくむ	生活規律等の確立	学級活動や集会等の機会に服装、挨拶、生活習慣などに関する指導・啓発を行う。		
	健康安全や防災に関す る教育の充実	保健体育などの教科学習を中核として体系的な保健教育を充実する。		
		災害に適切に対応する力を培うために防災学習を計画的に実施する。		
情報モラル指導の充実	情報社会の中でのルールやマナーを身に付けさせるために情報モラル教育を推進する。			
学校の教育力の 向上	一層の開かれた 学校づくり	府立中学校どうしの交流の場を活かし、情報の共有と互いの活性化を図る。		
		ホームページの充実等により、保護者・地域等に対して本校の情報を発信し、教育内容への理解を深めてもらう。		
	チーム力の向上	スクールカウンセラーや各種関係機関等の協力のもとでチーム学校を推進する。		
		学校組織マネジメントに関する研修の受講を推進する。		
	各種条件整備	土曜学習や夏期スクール、部活動の運営方法を検討し、学習活動の効率化と教員の負担軽減を図る。		
		校務システム等の利用により、生徒の個人情報管理と効率的な事務処理の体制を整える。		